

○ハーモニカおじさん○

清風園を慰問に

ハーモニカを演奏し、全国の老人ホームを訪問している長崎県佐世保市の福島秀治さん（六三歳）が三月十八日、土佐清風園（国沢守道園長）を訪れ、お年寄りを喜ばせました。

福島さんは終戦の年、長崎の原爆で両親と妹を失いました。そこ

で全国の老人ホームにいるお年寄りを両親と想って親孝行をと考え、四十七年五月からハーモニカ片手に全国の老人ホームを訪問しており「ハーモニカおじさん」として知られています。

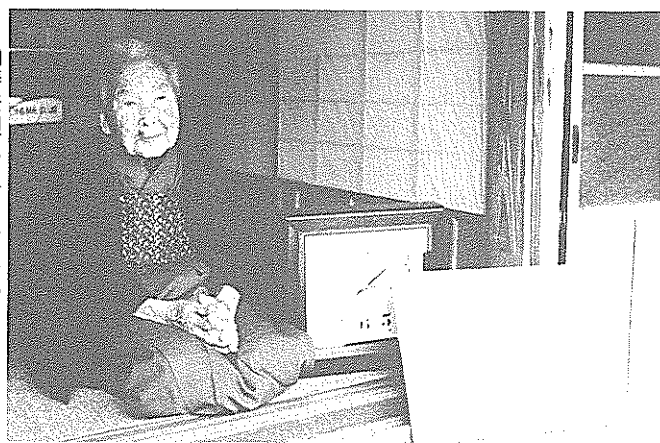
約三十人のお年寄りを前に「昔の歌を思い出してください」と呼び

掛け、リクエストに応じて「赤城の子守唄」「支那の夜」など懐かしい曲を次々に演奏しました。

お年寄りもマイクを持っていつしよに歌うなど大喜びで、楽しいひとときを過ごしました。



ハーモニカ演奏で、お年寄りを励ました



白寿を迎えますます元気な小春さん

地域ぐるみでお祝い

中澤小春さんが白寿

（稲生立石）

今年一月二日、数え年九十九歳を迎えた中澤小春さん（稲生立石）。三月十四日、立石地区の人たちが、小春さんの白寿を祝い記念の品を贈りました。

農業委員を務める中沢芳寛さんは「うちのおばあさんが八十九で亡くなったとき、小春さんは確かな十歳上と聞いていた。それでは九十九歳、何か祝いをしては」と、思い立ったのがきっかけ。老人会の協力も得てさつそく地区の総会にはかり、みんなが大賛成となり、一戸一戸から寄付を集め記念品を贈ることになりました。

最初、何を買おうか迷ったそうですが、それは婦人の意見に従い毎日の生活に役立つものをと、置き時計、湯沸かしポット、身の回

りのものなど購入。三月十四日には、世話人の人たちが十人が訪問し直接小春さんに手渡すと、元気な声で「ありがとうございます」と答えていました。

小春さんは、とても働き者で、性格も明るいおばあちゃん。最近、少し耳が遠くなりましたが、家の周りの草取りや散歩するなどまだまだ元気。

地区の人たちは「一世紀を元気に生きてきた小春さんを、少しは見習わなければ」「百歳の祝いは盛大にやりたい」と、小春さんの長生きを楽しみに、そして温かく見守っています。



ご家庭で話し合って答えください。答えは、この広報に出ています。

■もんだい・改築工事が進められていた〇〇小学校が完成、三月十六日落成式が行われました。
■しめきり・4月15日

■あて先・〒783 南国市大埔甲三〇一 南国市役所内広報委員会親子クイズ係
■答えのハガキには必ず、住所氏名、年齢、職業を書いてください。

■賞品・正解者の中から、抽選で五人に図書券を進呈。

第158回当選者発表（敬称略）

（応募総数37通）

- 答え・①②③④⑤
- 当選者五人
- 市山安子（稲生）
- 野中敦司（大埔）
- 西山美保（大埔）
- 山本淑（下末松）
- 朝日奈真弓（比江）